

職員数 6・回収数 6・割合 100%

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	2		・利用者の障害特性が様々なことと、利用者の体も大きくなっているため、狭いと感じるときもある。
	2 職員の配置数は適切であるか	5	1		・基準・加配職員共に適切である。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	1	2	・出入り口に段差がある。 ・出入り口が片開きドアのため、狭い。 ・バリアフリーになっている所となっていない所がある。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5		1	・計画・実行・評価・改善を行い、個別支援計画を作成している。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1		・毎年、自己評価を行いホームページで公開をしている。 ・保護者等から意向を伺い、改善できる場合は速やかに改善をしている。改善できない場合は、理由を説明し、理解を得るようにしている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1		・ホームページで公開をしている。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	1	2	・第三者評価は行っていないため、今後の課題である。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			・毎月、全職員が内部研修を実施している。Webや対面での研修にも参加している。新人職員はeラーニング研修を実施している。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			・半年毎に見直しをしている。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1		・令和元年度から新しいアセスメントと計画書を使用している。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			・児発管・保育士・児童指導員・障害福祉サービス経験者などのチームで立案をしている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			・コロナ渦だが施設外活動を工夫し、固定化しないようにした。 ・前年度の活動を振り返り、常に内容のグレードアップを行っている。 ・運動プログラムを適宜取り入れている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6			・本人の希望を伺い、個々のペースに合わせた支援を行っている。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1		・利用者の特性・体調・情緒等に合わせて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、個別支援計画を作成している。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			・朝礼を行い、前日の特記事項を踏まえ支援内容や役割分担などを確認している。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	1		・支援終了後は送迎があるため、翌日の朝礼で必ず振り返りを行い、情報共有をしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1		・毎日、個別ケース記録と日誌を入力し、支援の検証や改善を行っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1		・半年毎に見直しをしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	5	1		・適切である。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	2		・児発管や保育士などが参画している。最近では感染防止のため、電話やファックスでの参画も増えている。参加している相談支援専門員に情報を伝えている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	1		・送迎時に学校からの引継ぎを確実にしている。ホームページや学校だよりからも情報を得ている。学校でトラブル等があった場合は、保護者に引き継いでいる。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	2	2	・受け入れていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	2		・保護者に同意を得たうえで情報提供を相互に行い、連携をしている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	1		・依頼があれば、保護者に同意を得たうえで情報提供を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	2		・困難事例について助言を受けたり発達障がい者支援センターの研修に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2	3	・コロナ渦のため自粛しているが再開が望まれる。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	1	3	・感染症予防のため自粛をしている。参加をしている相談支援専門員に意見や要望を伝えている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	1		・送迎時に、確実に伝えている。 ・電話・電子メール・連絡帳で報告し情報共有をし共通理解を持つようになっている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	3	2	・保護者からの相談に応じているが、ペアレントトレーニングは行っていない。家族支援プログラム等の研修には参加している。
		30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1	
31		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1		・随時、相談に応じ、可能な限りの助言と支援を行っている。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	32	5	1		・コロナ渦のため自粛しているが再開が望まれる。
	33	5	1		・苦情が出た場合、改善できる時は速やかに改善をしている。改善できない場合は、理由を説明し理解を得るようにしている。
	34	4	2		・広報誌・ホームページ・杜からのお知らせ・電子メール・ナースコール等で発信している。
	35	6			・毎年、年度当初に保護者に確認し、文書で回答を得ている。
	36	6			・自分の意見を言うことができる利用者からは直接伺い、意思疎通が難しい利用者は保護者の方に伺っている。聴取方法は、書面・電話・電子メールなど、意思疎通をしやすい方法になるように配慮をしている。
	37			1	5
非常時等の対応	38	5	1		・毎年、年度当初に保護者に確認し、文書で回答を得ている。職員や保護者には、連絡帳・電話・電子メール・杜からのお知らせ・ナースコールなどで周知している。
	39	5	1		・利用者1人につき、年2回以上の避難訓練を行っている。
	40	6			・虐待防止委員会を毎月開催し、研修を行っている。
	41	6			・身体拘束は行っていない。
	42	3	3		・医師の指示書には基づいていないが、毎年、年度当初に保護者に確認し、文書で回答を得ている。
	43	5	1		・ヒヤリハットは日誌に記入し、情報共有をしている。